

2017 年度アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト実施報告

International Intercultural Mural Exchange [IIME]

ジャパンアートマイル (JAM)

「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」(後援:文部科学省・外務省、協力:JICA)は、海外のパートナー校と文化の違いを超えて共通のテーマについて学び合い、学習の成果として壁画を共同制作する国際協働学習の学習プログラムです。SDGs(持続可能な開発目標)に学校で取り組む国際教育として、またユネスコの ESD(持続可能な開発のための教育)グローバル・アクション・プログラムとして認定されているアートマイルには、これまでに 64 の国・地域から 1,181 校 40,092 名の児童生徒が参加しています。

2017 年度は、対話的・協働的な国際協働学習の質がどのように上がっているか、どういう力が育っているかに着目して参加校の取組をまとめました。その成果を報告します。

1 国内・海外の参加校

2017 年度の「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」に 18 の国・地域からのべ 78 校 3,228 名の児童・生徒・学生が参加しました。

【参加都道府県】17 都道府県

北海道、宮城県、山形県、茨城県、群馬県、東京都、富山県、岐阜県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、香川県、福岡県

【参加国・地域】18 の国・地域

アメリカ、インドネシア、エジプト、カナダ、ケニア、サウジアラビア、ジンバブエ、セントルシア、台湾、ナミビア、日本、ネパール、パキスタン、フランス、ペルー、マラウイ、メキシコ、ロシア

【参加校・参加生徒】

参加校数:延べ 78 校 (日本 39 校、海外 39 校)

参加生徒数: 3,228 名

(日本 1,988 名、海外 1,240 名)

【日本参加校・海外参加校 国・地域別一覧】

NO	国・地域名	日 本 校	海 外 校
1	Canada カナダ	兵庫県 赤穂市立有年小学校	Bridgewood Public School
2		岐阜県 県立恵那高等学校	Lincoln M. Alexander Secondary School
3	Egypt エジプト	北海道 市立札幌大通高等学校	El-Shaheed Ibrahim El-Refaey Governmental Distinguished Language School
4	France フランス	福岡県 北九州市立中井小学校	Collège Saint Paul-Rezé
5		福岡県 大牟田市立明治小学校	Groupe Scolaire Carlepont
6		香川県 観音寺市立観音寺小学校	Emmanuel Cheneau
7		東京都 多摩市立東愛宕中学校	Collège La Loge des Bois
8	Indonesia インドネシア	愛知県 東浦町立緒川小学校	SDN Wonokusumo 5 Surabaya
9		兵庫県 神戸大学附属中等教育学校	SMP Islam Tugasku
10		大阪府 追手門学院大手前中・高等学校	SMA Bukit Asam
11		東京都 都立田柄高等学校	SMA Negeri Taruna Nala Jawa Timur
12	Kenya ケニア	岐阜県 多治見市立共栄小学校	Wamumu Rehabilitation School

13	Malawi マラウイ	東京都 多摩市立瓜生小学校	MATITI Primary School Mgwangwa Primary School
14	Mexico メキシコ	山形県 山形市立西小学校	Comunidad Educativa Yaxunah
15		東京都 武蔵村山市立第三小学校	FORMUS
16		北海道 海星学院高等学校	Centros de Idiomas, Universidad Veracruzana
17	Namibia ナミビア	兵庫県 赤穂市立原小学校	Kameru Primary Eco School
18	Nepal ネパール	香川県 三豊市立曾保小学校	Shree Panchakanya Secondary School
19		京都府 木津川市立木津南中学校	Shikharapur Community School
20	Pakistan パキスタン	岡山県 県立岡山一宮高等学校	Modernage Public School & College (Boys)
21		宮城県 富谷高等学校	Modernage Public School & College (Girls)
22	Peru ペルー	香川県 観音寺市立観音寺小学校	José Gálvez
23	Russia ロシア	兵庫県 赤穂市立高雄小学校	Secondary School №19
24		愛知県 東浦町立藤江小学校	Moscow State School 1471
25	Saint Lucia セントルシア	静岡県 浜松学院中学校	Saint Lucia Red Cross Youth Group
26	Saudi Arabia サウジアラビア	滋賀県 大津市立志賀中学校	Al Hussan International School
27	Taiwan 台湾	東京都 多摩市立南鶴牧小学校	Taipei Municipal Zongshan Elementary School
28		愛知県 岡崎市立秦梨小学校	Taipei Municipal Ying-Qiao Elementary School
29		愛知県 知多市立佐布里小学校	Wen Ya Elementary School
30		香川県 観音寺市立観音寺小学校	Rixin Elementary School
31		群馬県 藤岡市立小野小学校	Chiayi Municipal Gang Ping Elementary School
32		富山県 富山市立神通碧小学校 富山市立楡原中学校	Chien-Kuo Junior High School
33		茨城県 つくば市立春日学園義務教育学校	New Taipei Municipal Fuhe Junior High School
34		京都府 京都教育大学附属桃山中学校	Tainan Municipal WunSian Elementary School
35		愛知県 豊橋中央高等学校	National Shanhua Senior High School
36		兵庫県 Sherry 英語教室	Julie Billiard School
37	USA アメリカ	兵庫県 県立芦屋国際中等教育学校	John Adams Middle School, Santa Monica CA
38		兵庫県 県立芦屋国際中等教育学校	Scales Mound Junior High School
39	Zimbabwe ジンバブエ	愛知県 岡崎市立六ツ美北部小学校	Helena Primary School

2 アートマイル国際協働学習

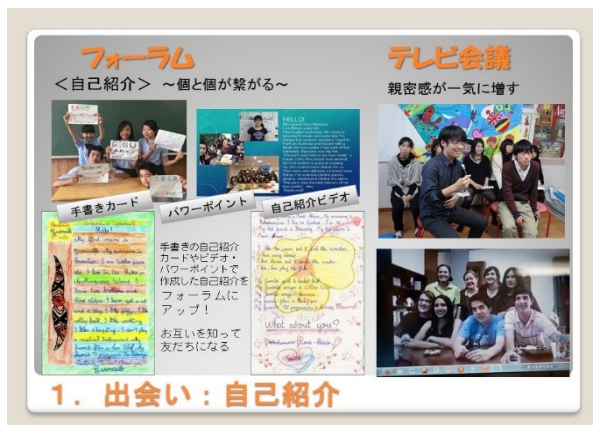
アートマイルは、海外のパートナー校とインターネットを使って、「平和」「環境」「共生」など地球規模のテーマや、「命」「将来の夢」など生き方に関するテーマについて協働学習を行い、世界に訴えたいメッセージを込めて壁画を共同制作する 7 ヶ月間の継続した国際協働学習です。

(1) 学習の流れ

アートマイルの国際協働学習は、①出会い ②共有 ③融合 ④創造 ⑤評価 の 5 つの段階を追って進みます。いつ、何をするのか、大枠が決まっていることで、初めて参加する教師も見通しを持って学習を進めることができます。



〔9月〕 出会い: 自己紹介



協働学習は自己紹介からスタートします。手書きの自己紹介カードを作成したり、パワーポイントや動画で自己紹介を作成してフォーラム(相手と1対1でやりとりができる電子掲示板)にアップします。時差が大きいところはスカイプで直接顔を見て自己紹介をすると相手との距離が一気に縮まります。スカイプの様子もフォーラムにアップして協働学習を「見える化」します。「見える化」することによって各段階の学習を振り返りながら、見通しを持って次に進むことができます。

〔10月〕 共有: テーマ学習



相手と相談して決めたテーマについて調べたことを紙、パワーポイント、動画などにまとめてフォーラムにアップします。お互いのことを教え合い、意見交換する中で、相手との類似点や相違点に気がきます。新たな視点でもう一度考えることで学習が深まります。

〔11月〕 融合: 想いを形に



テーマについて学びを深めたら、双方の想いを合わせて世界に訴えるメッセージを作成します。そのメッセージをどういう絵に表すのか、絵の構図・内容・制作分担を相手と話し合って決めます。

〔12月～2月〕 創造: 壁画制作



日本側が11月末～12月に壁面の半分を制作して相手校に送ります。相手校が1月～2月に後の半分を描いて完成させ、鑑賞してから、3月初めに完成作品を日本の学校に送り返します。海外では、校内だけでなく地域の人にお披露目したり、美術館で展示するところもあります。

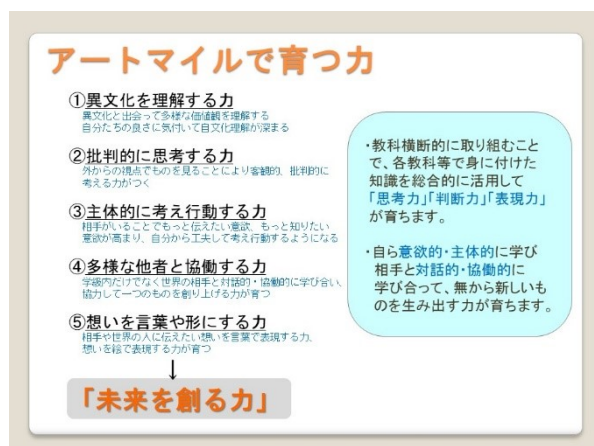
[3月] 評価: 振り返り



完成した壁画が届いたら、作品を鑑賞してじっくり達成感を味わいます。最後に、これまでの活動全体を振り返って自己評価をします。アートマイルをする前と後の意識の変化を自覚することが「自己変容」につながります。

(2) アートマイルで育つ力

今、社会で求められている力は、自ら課題を見つけ、決まった答えがない問題を、様々な考え方の人と対話的・協働的に解決する力です。



アートマイルでは、地域と世界を関連付けながら共通の課題を発見し、異なる文化背景を持つ人た

ちと協働してより良い解決策を探る力や新しい価値を生み出す力『未来を創る力』を育てています。

<未来を創る力>

- ① 異文化を理解する力: 異文化と出会って多様な価値観を理解し、自分たちの良さに気付いて自文化理解も深める力
- ② 批判的に思考する力: 外からの視点でものを見ることにより客観的・批判的に考える力
- ③ 主体的に考え行動する力: 相手がいることでもっと伝えたい意欲、もっと知りたい意欲が高まり、自分から工夫して考え行動する力
- ④ 多様な他者と協働する力: 学級内だけでなく世界の相手と対話的・協働的に学び合い、協力して一つのものを創り上げる力
- ⑤ 想いを言葉や形にする力: 相手や世界の人に伝えたい想いを言葉で表現する力、想いを絵で表現する力

3 成果

(1) 「ついた力」の調査・分析

日本の全参加校に「アートマイルでついた力」について9つの項目で報告を求め、それぞれの力がどのようについたのか、つかなかったのかを分析しました。

- ①自文化を理解する力
- ②異文化を理解する力
- ③情報活用能力(収集・まとめ・発信)
- ④コミュニケーション力(双方向・共感・英語)
- ⑤批判的に思考する力(客観的・論理的視点)
- ⑥主体的に考え行動する力
- ⑦他者と協働する力(学級内・海外の相手)
- ⑧想いを言葉や形にする力(メッセージ作成・壁画制作)
- ⑨評価する力(作品の鑑賞・学習の自己評価)

9つのついた力について、「5とてもついた」「4ついた」「3どちらともいえない」「2あまりつかなかった」「1つかなかった」の5段階で評価しました。

図1は小学生(21校)の「ついた力」、図2は中学生・高校生(18校)の「ついた力」を表しています。

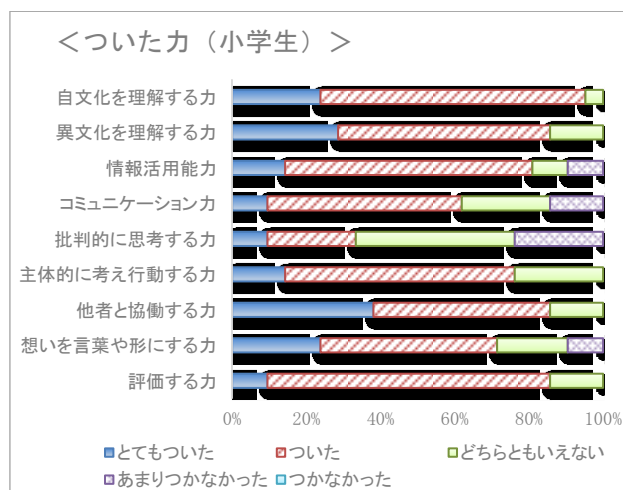


図1 小学生のついた力

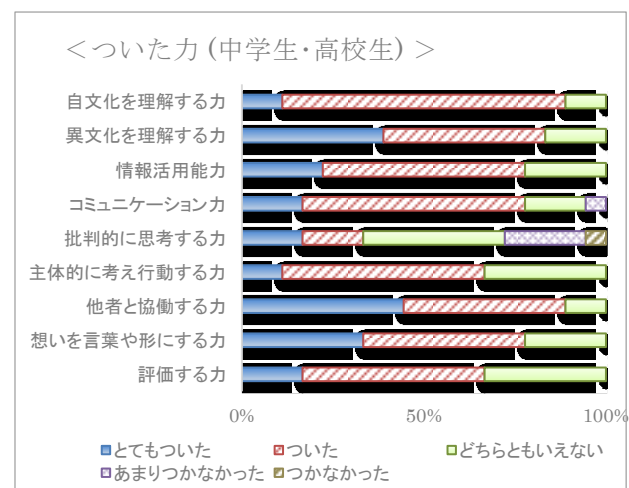


図2 中学生・高校生のついた力

■「とてもついた」「ついた」力

小学生・中高校生共に、「5 とてもついた」と「4 ついた」を合わせて非常に高かったのが以下の 3 つの力です。

「自文化を理解する力」(小 95%、中高 89%)

「異文化を理解する力」(小 86%、中高 83%)

「他者と協働する力」(小 86%、中高 89%)

・「自文化を理解する力」がついたと思う理由の多くは、「相手に地域の良さを伝えることで地域の魅力を実感することができた」(小)、「相手と比較することで自分たちの地域を見つめ直し、客観的に、且つ視点を広げて考えることができた」(小)です。

・「異文化を理解する力」については、小学生よりも

中高生の方が「5 とてもついた」が多くありました。これは、小学生よりも英語力がある中高生の方が相手と直接言葉を交わしながら相互理解を深めることができたことによると考えられます。

特に相手校が文化が大きく異なる国の場合、「知らない世界を知る驚きと喜び」(高)があり、「相手国に興味関心を持ち、食文化、ファッション、宗教、自然について熱心に調べていた」(中)と報告がありました。

・「他者と協働する力」がついたと評価する学校は小中高校の全てに多く、特に「5 とてもついた」という評価は、調査した 9 つの力の中で最高でした。そう思う理由は、「メッセージを相手と摺り合わせる過程がさらに相互理解を深め、協働を促した」(小)、「自分の役割は勿論、周囲の役割も人任せにせずお互いに助け合って協働することができた。相手とも心を通わせながら協働できた」(高)などです。

■「あまりつかなかった」「つかなかった」力

小学生では、「2 あまりつかなかった」が 4 つの項目にありましたが、「1 つかなかった」は 0%でした。

「批判的に思考する力」(小 24%)

「コミュニケーション力」(小 14%)

「情報活用能力」(小 10%)

「想いを言葉や形にする力」(小 10%)

・「批判的に思考する力」があまりつかなかった理由は、「調べたことを共有したが、類似点や相違点をじっくり見て批判的に考えるところまで至らなかった」(小)が多くありました。

・「コミュニケーション力」があまりつかなかった理由は、「英語が難しかった」と言葉の壁を上げるところがある一方、「ついた」と答えたところは「溢れる子どもたちの想いを言葉や絵で伝える事ができた。伝えるための手段としての英語や中国語への関心が高まった」(小)と評価していました。

・「情報活用能力」があまりつかなかった理由は、「調べ学習の際に本やインターネットを利用するこ

とはできたが、フォーラムにアップするのは教師の活動となった」(小)でした。

・「想いを言葉や形にする力」があまりつかなかった理由は、「自分たちの想いを言葉にして相手と一緒にメッセージを作成するときに相手と十分な話し合いができなかった」(小)でした。

中高生では、2つの項目に「2あまりつかなかった」と「1つかなかった」がありました。

「批判的に思考する力」(中高 28%)

「コミュニケーション力」(中高 6%)

・「批判的に思考する力」があまりつかなかった理由は、「相手とコミュニケーションを取るのに精一杯で、批判的思考までたどりつけなかった」(中)と小学校とほぼ同じでした。「教師の誘導無しに批判的な視点で考えることは難しいと感じた」(高)という意見もありました。「1つかなかった」と答えたところが1校あり、その理由は、「客観的に振り返る時間を持たなかったため」(高)でした。

・「コミュニケーション力」があまりつかなかった理由は、「テーマ学習の内容を深くすると英語が難しくなり、翻訳に関してほとんど教員が行っていた」(中)とあり、難しいテーマで相手と深くやり取りをする際に英語力が課題となっていたことがうかがえます。

(2)まとめと課題

対話的・協働的な国際協働学習の質は、フォーラムの活用を促すことで年々上がっています。フォーラム上で相手とやり取りを重ねることで、コミュニケーションの質が上がり、学習が深まります。

逆に、フォーラムをあまり活用していないところは相手意識が十分ではなく、自己完結型の学習に陥りがちです。そうすると相手がどこの国のだれであっても、自分たちが描く絵は同じ絵になってしまいます。それでは協働学習をしたとは言えません。

「批判的に思考する力」が最も低かったのは予想通りでした。これまで日本の学校教育の中で、

「批判的思考」の教育はほとんどなされてこなかったからだと思われます。教師自身が、批判的に思考するとはどういうことか、アートマイルでそれを行うにはどうすればいいかを描けていないことがあるように思われます。

アートマイルに取り組むには、教師自身が常に変化し、成長する覚悟が求められます。なぜなら、教師にとっても知らない世界との出会いであり、文化背景の異なる相手との協働体験となり、相手がいるが故に想定外が起きるからです。

子どもたちに「21世紀を生き抜く力」「未来を拓く力」をつけるためには、その前に教師がその力を身につけようとする姿勢が求められます。学びの喜びのある先生の生徒たちは、先生以上に学びの喜びを知ることになります。

4 これからの展望

一般財団法人ジャパンアートマイルは、自国の伝統文化に誇りを持ち、グローバルな広い視野をもって自ら考え行動し、多様な文化背景を持つ人々と協働して新しい価値を創造する人材の育成を通じて、平和な世界の実現をめざしています。

「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」は、こうした人材を学校教育の中で育てる一つの学習ツールです。

今回の「ついた力」の調査・分析の結果を踏まえて、①学習の質の向上 と ②サポート体制の充実という2つの観点でプロジェクトを見直し、次年度に向けて課題を改善していきます。

世界の同世代と対話的・協働的に学び合い、一つのものを生み出す国際協働学習が、子どもたちの将来の糧となり、自分たちの手で新しい時代を切り拓いていく次世代となるように、ジャパンアートマイルは学校と連携して本プロジェクトに取り組んでいきます。